

埼玉版スーパー・シティプロジェクト「ビジネスピッチ」

事業者育成型公募プログラム

ー 地域の空き家・遊休不動産を活用した事業をつくる 事業者を増やす仕掛け ー

2026.07.31

株式会社エンジョイワークス

今日のテーマ

遊休不動産（モノ）もプレイヤー（ヒト）も
地域で育てる

自己紹介

代表取締役 福田和則

1974年生まれ。51歳。

外資系金融機関勤務を経て、2007年エンジョイワークスを設立。
鎌倉を拠点に約10年間の様々なボトムアップ型まちづくりの実証
実験を経て、2018年より共感投資プラットフォーム「ハロー！
RENOVATION」を運営。



会社概要

株式会社エンジョイワークス

- ・ 鎌倉・由比ヶ浜通り商店街の空き店舗をリノベーションした
7つの拠点をベースに活動
- ・ 社員は97名（パート・アルバイト含む）※2026年6月現在
- ・ 資本金1億8,040万円
- ・ 不動産、建築設計、空き家再生、まちづくり、ファンド運営
- ・ 子会社グッドネイバーズは、カフェ・ゲストハウス
シェアオフィスなどを運営



ミッション

ライフスタイル（暮らし方、働き方、生き方）について
自ら考え、自ら選択するための仕掛けを提供し、
共創する機会を生み出すことで
持続可能で豊かな社会の実現に貢献します。

エンジョイワークス

- ・2007年設立
- ・鎌倉・由比ヶ浜通り商店街の空き店舗をリノベーションした
7つの拠点をベースに活動
- ・社員97名（パート・アルバイト含む）※202606現在
- ・資本金1億8,040万円

湘南エリアに特化

住民参加型の地域活性手法の実験

場の運営
プロデュース

建築設計
土地建物分譲

住宅宿泊管理業

不動産仲介
物件管理

一級建築士事務所

宅地建物取引業

事業組成
ファンド

小規模不動産
特定共同事業
↓
不動産
特定共同事業
1号2号

事業拡大/持続
ファンド

不動産
特定共同事業
3号4号
+
第二種
金融商品取引業

地域価値共創
エコシステム

地域活性
ローカルファンド
+
次世代まちづくり
スクール
・
#新しい不動産業
研究所

国や自治体との連携・全国へ展開

空き家問題・地域活性・地方創生

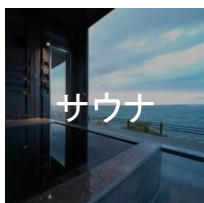
2007

2013

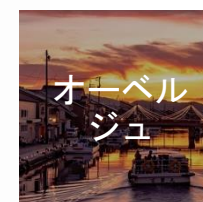
2014

2018

2026



全国各地で
100事業
以上の実績



今日のテーマ

遊休不動産（モノ）もプレイヤー（ヒト）も
地域で育てる

地域が抱える課題

増える
空き家
空き店舗

担い手
不足

にぎわいの
低下



プレイヤーや担い手を育成しよう！

地域が抱える課題

増える
遊休公的
不動産

アイデア
不足

増える
維持管理
コスト



民間事業者を呼んでこよう！

地域が抱える課題

創業支援
プログラム



物件がない

サウンディング



応募がない

地域が抱える課題

遊休不動産（モノ）もプレイヤー（ヒト）も
発掘できていない

地域共創の解決策

遊休不動産（モノ）もプレイヤー（ヒト）も
地域で育てる



地域で発掘し、地域のみんなで育てていく

伴走型育成プログラム

事業者育成型公募

地域の空き家・遊休不動産を活用した事業をつくる
事業者を増やす仕掛け

事業者育成型公募のフロー

募集・説明会

WEBや公告だけではなく
公募の骨子を説明会などで直接共有

1次審査

実績や実現度に偏重せず
発想力や地域に必要な事業かなどを重視

メンタリング

専門家だけではなく
地域の起業家などからメンタリング

実証実験

書類やプレゼンだけではなく
実際にやってみることでの発見を活かす

最終審査

机上の検討だけではなく
実証実験の結果を含めた事業計画提案

事業化

ひとりで事業化するのではなく
公募コミュニティによるサポートがある

コミュニティ化

事業者育成型公募の特徴

アイデアのある事業者のチャレンジを支援する
地域共創の伴走型育成プログラム

やる気のある事業者候補が参加しやすい仕組み

- 事業計画が完成していなかったり、実績の少ない事業者であっても挑戦できる

事業者を育成する仕組み

- 選考段階でメンタリング(専門家によるアドバイス)、実証実験を実施

地域（コミュニティ）とつながる仕組み

- イベントや実証実験等を通じて事業開始前から地域とつながりを作っていく

複数の事業を同時にブラッシュアップできる
まちぐるみで事業を応援（サポート）していく

事業者育成型公募の実績

国土交通省都市局・官民連携都市再生推進事業の支援を受けて
ブラッシュアップしてきたプログラム

人にも動物にも環境にも優しく生きる

開催

29

地域

参加者

385

人

事業化

30

事業



事業者育成型公募



福井県池田町×福井銀行

概要

福井県池田町、株式会社福井銀行と協働し、町所有の2物件を対象にプログラムを実施。



東俣地区・池田町保有の古民家①



学園地区・池田町保有の古民家②

研修プログラム (2021年10月2日、3日)

福井県内外の事業者8組が応募、研修プログラムに参加。不動産、建築設計、福祉、観光等、幅広い業種の事業者が集まり、対象物件を宿泊施設やシェアハウス等に活用する事業アイデアを持ち寄った。

事業選考会 (2021年11月)

研修プログラムに参加した8組のうち5組が選考に参加。池田町、福井銀行、エンジョイワークスの三者で協議の上、2物件に対してそれぞれ1組、合計2組の事業者が池田町と賃貸借契約を結ぶにあたっての優先交渉権者を得た。

事業者選定・プロジェクト開始 (2022年1月～)

池田町との交渉、地域住民への説明等、町による審査を経て、東俣地区の池田町保有古民家を活用して事業を行う事業者に有限会社トゥモローズリハビリテーショングループ（代表取締役：見目 隼人）が最終選定された。2022年秋に一棟貸スタイルのバケーションレンタル事業の開始に向け、プロジェクトのサポートを開始。



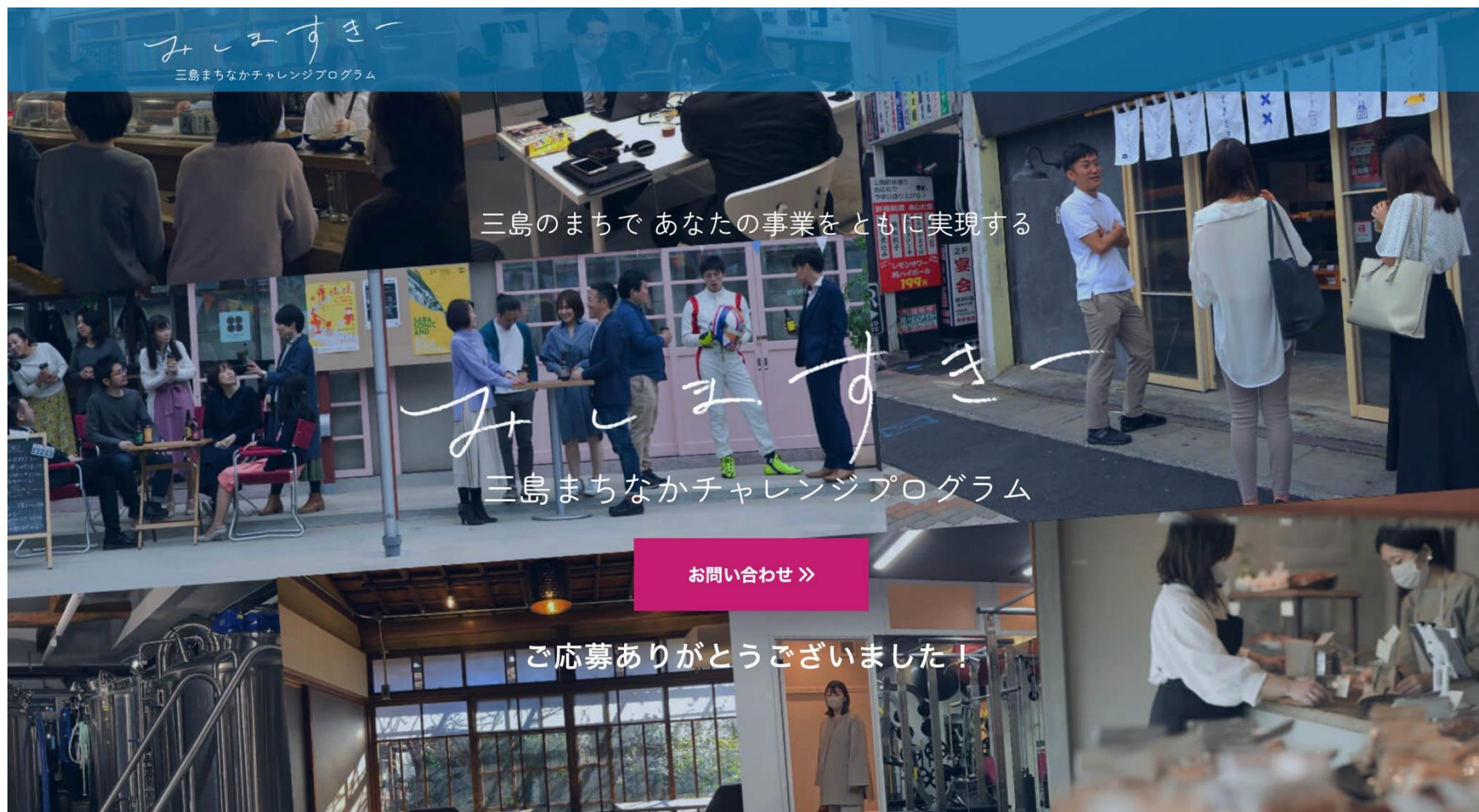


日本橋さんかくプログラム

UR（中央区日本橋馬喰町横山町）



加和太建設×三島信用金庫（静岡県三島市）



事業者育成型公募のはじめ方

まずは、ビジョンを組み立てる

ミッション
人にも動物にも環境にも優しく生きる

健康
複数の民間空き家
動物福祉 環境保全

城下町

遊休公的施設

門前町

伝建エリア

商店街

問屋街

中心市街地

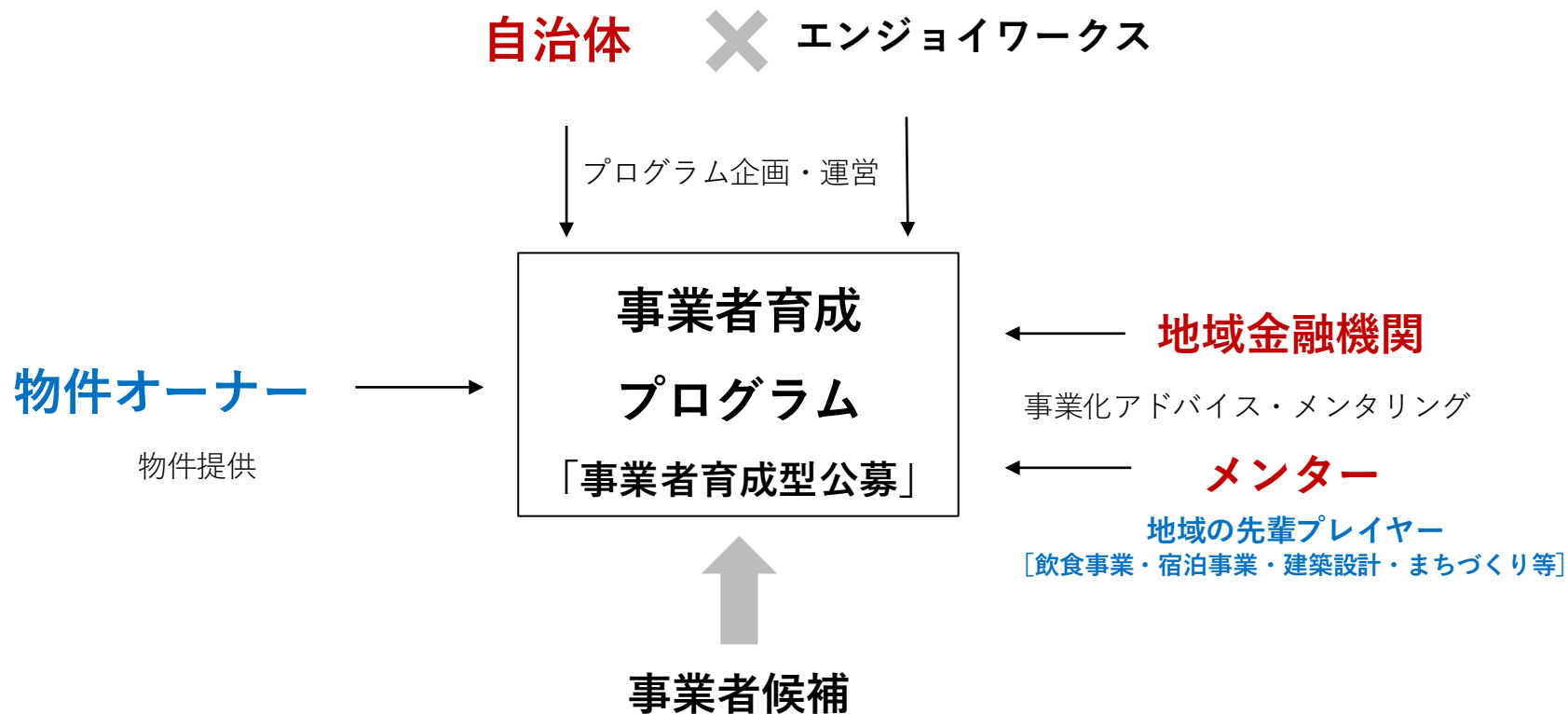
事業者を育成するエリアとして位置づけ



将来のまちのコンセプト・ターゲット・ビジョンを構想

事業者育成型公募のはじめ方

「自治体 × 地域金融機関 × メンター」の座組で実現可能



事業者育成型公募のはじめ方

エリアで始める？ 単体施設で始める？

事例 1 | まちなかエリアから始める

奈良県生駒市

遊休不動産を活用して
ローカルビジネス起業家を増やす

- 駅前商店街の空き店舗 5 物件から
- 生駒市 × 大和信用金庫
- プレイヤーとサポーターを募集

事例 2 | 公的遊休不動産から始める

神奈川県真鶴町

スモールコンセプションで
町民ディベロッパーを増やす

- 公的遊休不動産（寄贈古民家）から
- 真鶴町 × さがみ信用金庫
- 町民がつくる公募要件

A large group of people, mostly men, are posing for a group photo in a room. They are arranged in several rows, some standing and some kneeling. Many of them are making a heart shape with their hands. In the background, there is a large screen and two projectors hanging from the ceiling. The room appears to be a meeting or training space.

事例 1 | いこみなチャレンジ

遊休不動産を活用して ローカルビジネス起業家を増やす

生駒市×大和信用金庫

まちなかエリアの複数物件からスタート

大阪のベッドタウン生駒
商店街の空洞化に対する賑わい創出
ローカルビジネス起業家とともに
将来のまちづくりの担い手も育てたい

いこみなチャレンジの成果

申込み92名、参加82名

エントリー25名・サポーター登録21名

一次選考通過者12名

事業化を目指すプレイヤー12組

事業化見込み 3 組

いこみなチャレンジとは

「いこみなチャレンジ」は、
空き家や空き店舗を活かして起業・開業を
生駒市と経験豊富な専門家（メンター）がサポートする
事業伴走プログラム



専門家が
伴走支援



ほかの参加者や
地域とのつながり



実証実験の場と
機会の提供



不動産仲介や
工事に向けてフォロー



プログラムを通じた
広報サポート



持続性の高い
事業の実現へ

まちなかの5つの物件を生駒市と発掘

- ・ 近鉄生駒駅の南側
- ・ 生駒駅南口の中でも人々が多く行き交う4つの通りや商業施設、公共施設が立ち並ぶエリア

生駒市人口 116,214人 ※令和7年7月

生駒駅乗降客数 42,694人 ※令和6年11月



ケーブル駅まで40歩の
角地テナント



時が止まった
たった5坪の路地裏物件



長く愛された
老舗中国料理店



ピロティで2階が宙に浮く
昭和レトロビル



旧公設市場の
木造アーケードに連なる町家



プレイヤーもサポーターも募集

プレイヤー

物件を活用して
事業をやりたいひと

サポーター

まちづくりを
サポートしたいひと
(情報発信やイベント運営など)
将来のプレイヤー候補

メンター（専門家）もサポート

各ジャンルに精通した

関西圏を中心に活躍する地域の先輩たちが後押し



庄田 健助さん

Shoda Kensuke

まちづくり



小関 ゆきさん

Koseki Yuki

物販経営



亀岡 史郎さん

Kameoka Shiro

建築・設計



萩原 敬史さん

Takashi Hagihara

飲食経営



大和信用金庫

Yamato Shinkin Bank, Ltd.

金融機関

あなたの背中を押してくれる実践者たち。

アイデアを語れば、「それ、おもしろいね」と目を輝かせてくれる心強い存在です。

事業づくり、建築設計、地域との関係づくりまで。各分野の専門家があなたの挑戦に伴走します。

キックオフイベント

7月にオンライン／現地イベントを2回実施

参加申し込み

92 名

オンラインイベント

42 名

現地イベント

40 名

オンラインイベントを開催。

プログラムの説明だけでなく、まちの魅力を語るメンターとのトークセッションを実施。

現地イベントでは活用候補物件の内覧を含めた「いこみなエリア」のまち歩きを実施。

オンラインイベントの様子



現地イベントの様子



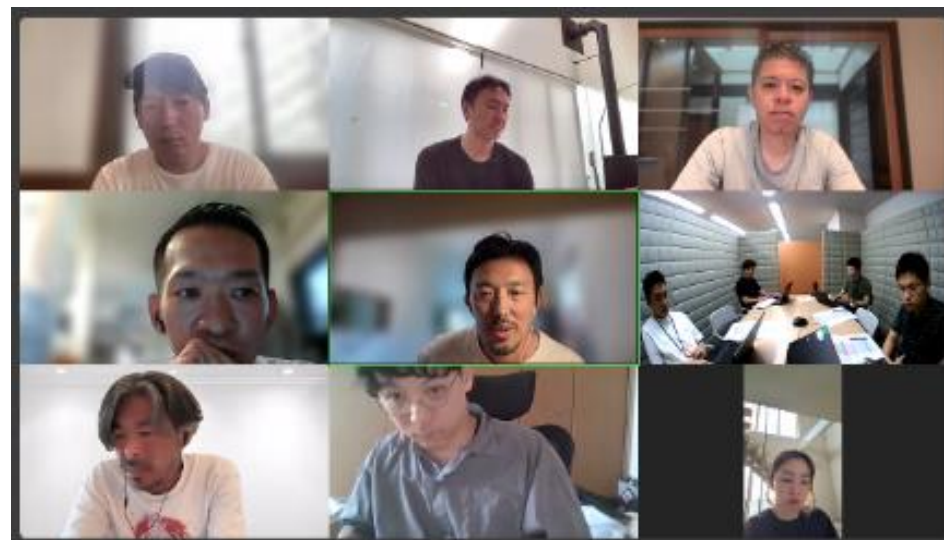
1次審査

8月メンターと一次審査会を実施

一次通過者

12 名

エントリー 25 組を事務局にて事前にオンラインで1組ずつ面談を実施
事業の具体性や計画性など詳細をヒアリングしたうえで審査会を行った



メンタリング・実証実験

応募者の事業内容や熟度に応じてメンタリング、
具体化をサポート

9/13 メンタリングイベント

応募者：メンター・応募者の前で事業プランを説明

サポーター：自分が持つスキルなどを応募者に向けPR



11/1-2 テストマーケティング

事業計画をブラッシュアップするため

生駒駅改札前でアンケート調査を実施



最終審査会

最終審査会を実施し、5名が優先交渉権を獲得
地域向けにPRする「公開プレゼン」開催

11/9 最終審査会

オーナーに向けた事業プレゼンを実施
最終通過者が決定
事業化に向けて物件交渉を開始



12/7 公開プレゼン

最終通過者だけでなく選考を勝ち抜いた参加者が
地域に向けPR



事業化へ

最終選考に残った5組に加えて、
落選したプレイヤーたちも開業に向けて準備を進めている



生駒を旅するカレー
一皿のカレーをきっかけに、
人と人、店と店がつながる
循環をつくる



IKOMA ART BASE
生駒に「誰もが気軽に訪れ、
アートを見て、触れて、語
り合える場」を提供



いこみな自販機
レトロ自動販売機ファンだ
けではなく地域の人の日常
に溶け込む場をつくる

○ ゲストハウス＋カフェ

学生が宿泊業の開業を目指しており、現在サポーターが所有する物件にて宿泊施設の運営を検討中。

ガバメントクラウドファンディング

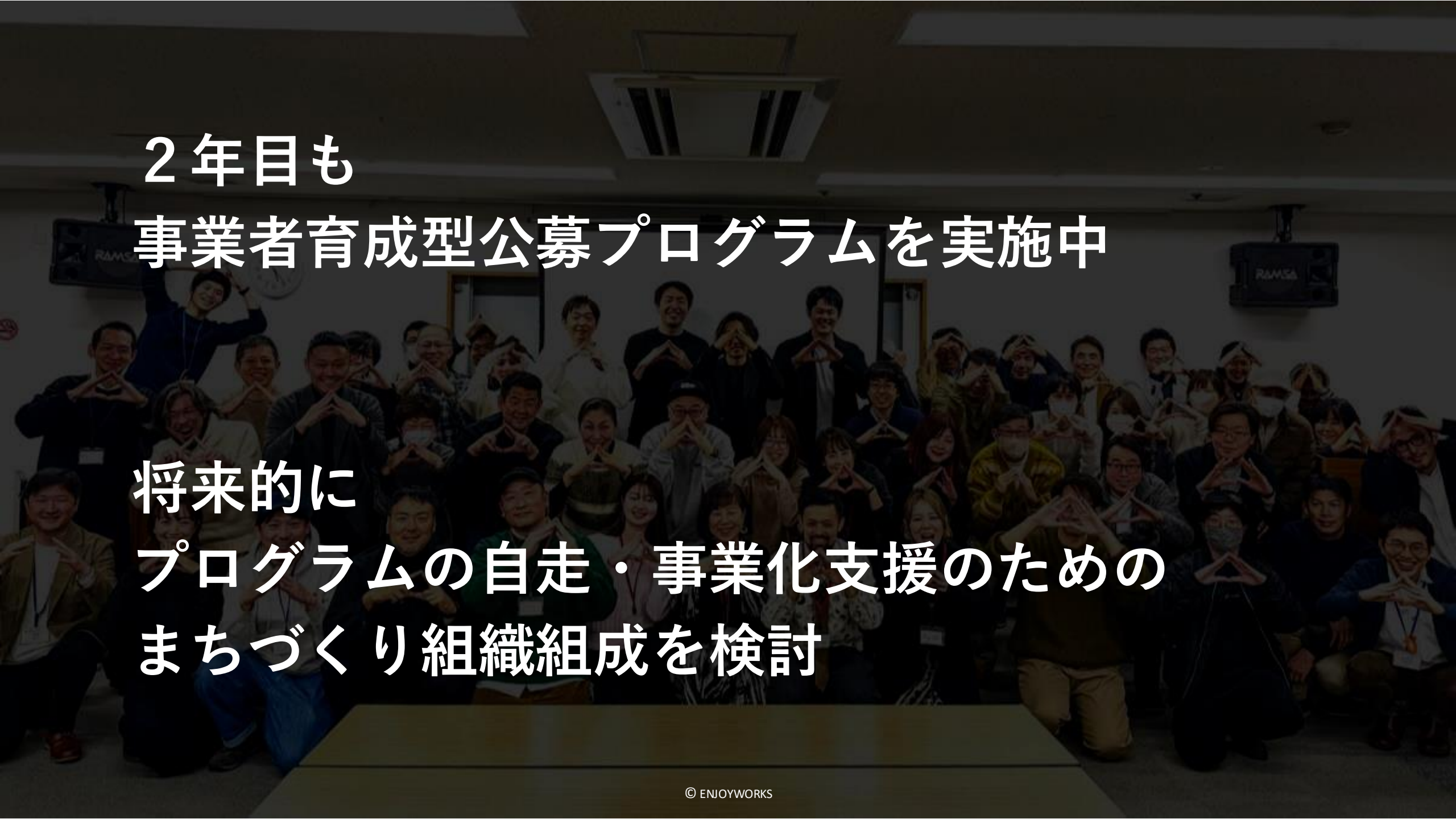
「いこみなエリア」開業予定者のチャレンジを ふるさと納税で応援

生駒に彩りを！アートと学びが交わる
ギャラリー&ワークショップ
「IKOMA ART BASE」



生駒に、“スパイスでつながる”
新しい賑わいをつくりたい！
「SPICE CURRY 寶山 (HOZAN)」





2年目も

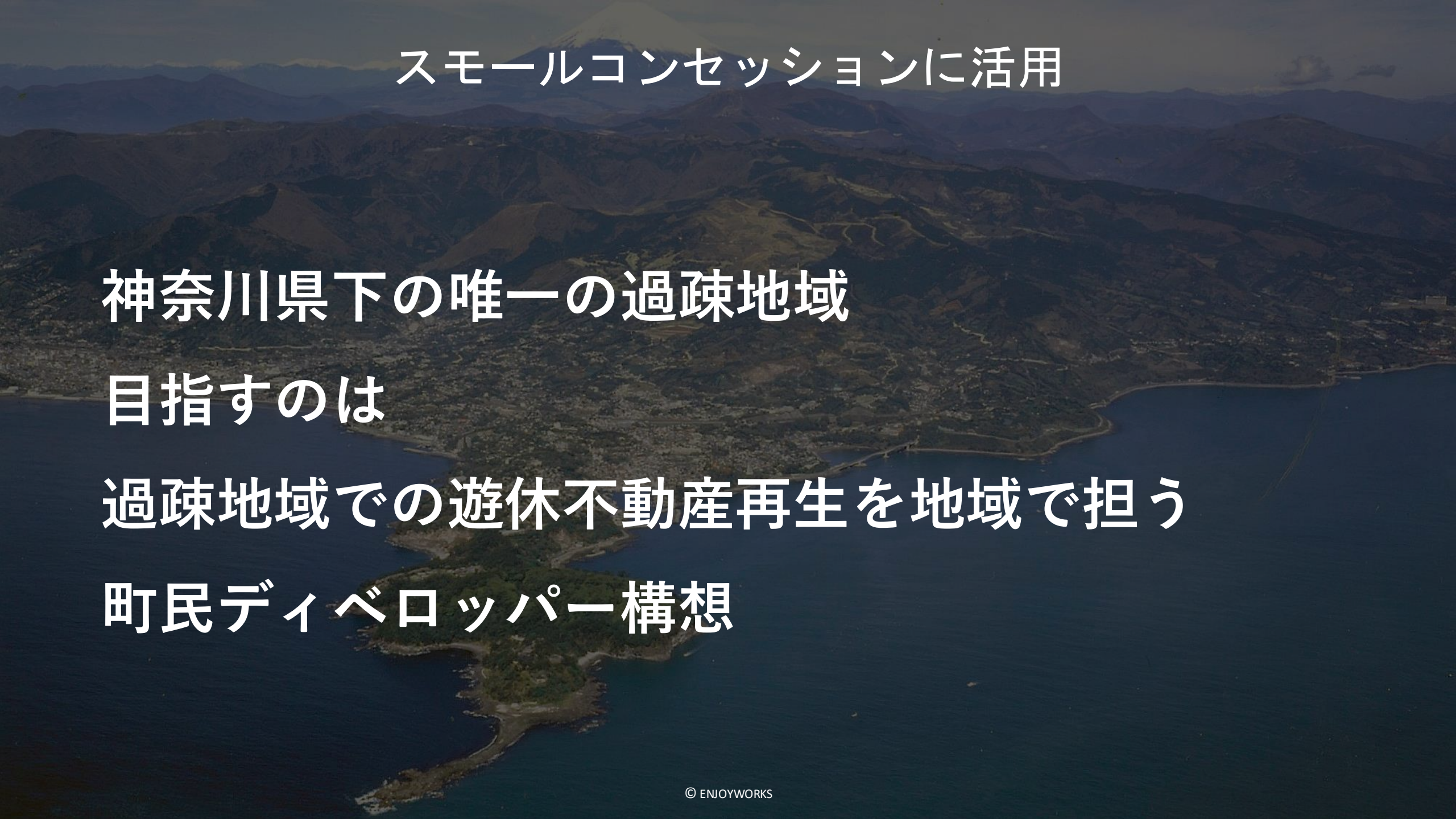
事業者育成型公募プログラムを実施中

将来的に
プログラムの自走・事業化支援のための
まちづくり組織組成を検討

事例 2 | 旧民俗資料館 スモールコンセプション形成推進事業

公的遊休不動産を活用して 町民ディベロッパーを増やす

真鶴町×さがみ信用金庫

An aerial photograph of a coastal region, likely in Japan, showing a large bay or inlet. The land is a mix of green fields and brownish hills, with some urban development visible along the coast. In the background, a range of mountains is visible under a clear sky. The text is overlaid on the image in white, with a slight shadow effect.

スモールコンセプションに活用

神奈川県下の唯一の過疎地域

目指すのは

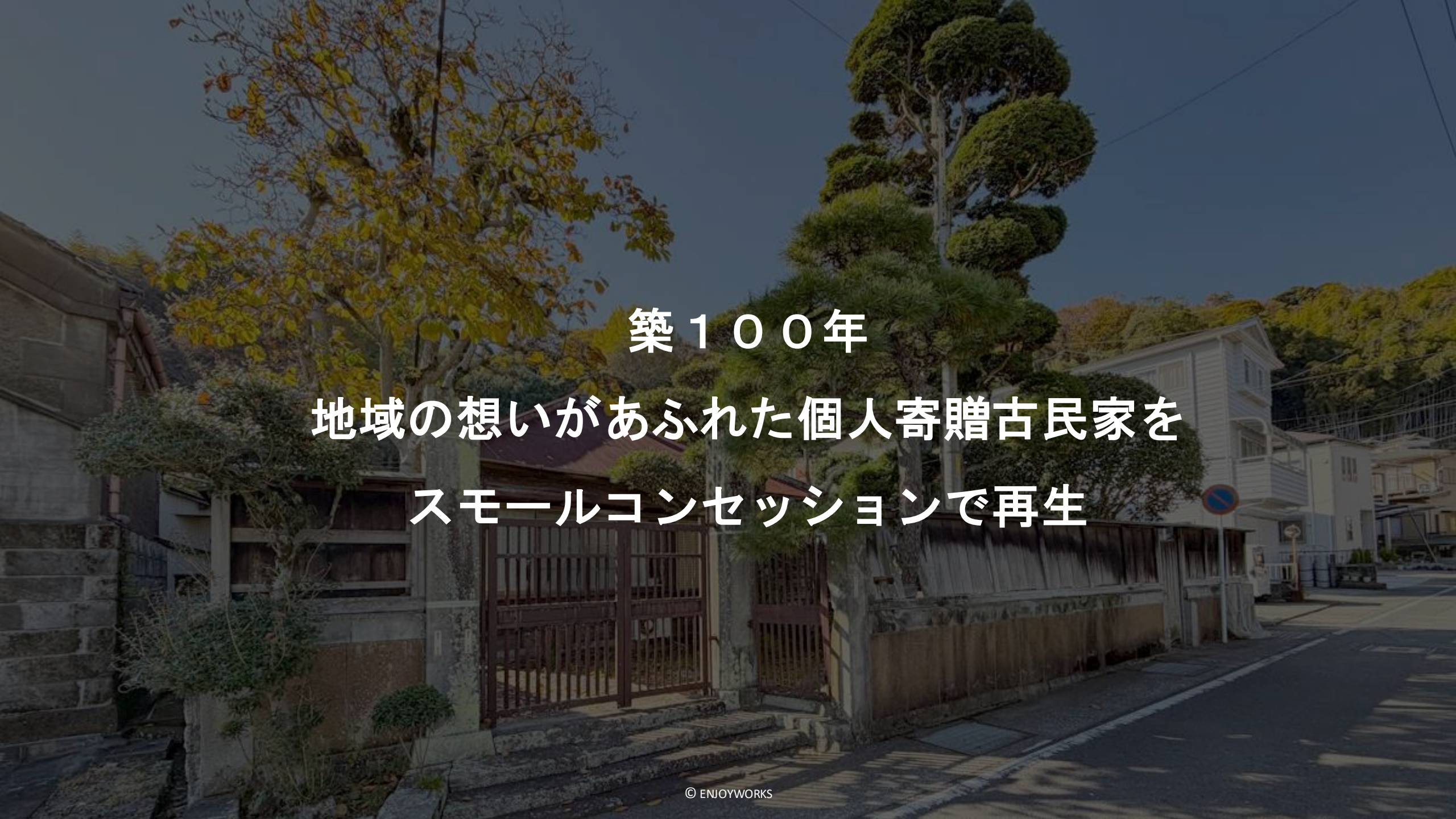
過疎地域での遊休不動産再生を地域で担う

町民ディベロッパー構想

真鶴町事業者育成型公募の成果

施設の公募要件を住民がつくる

事業者候補 5名・社 の応募

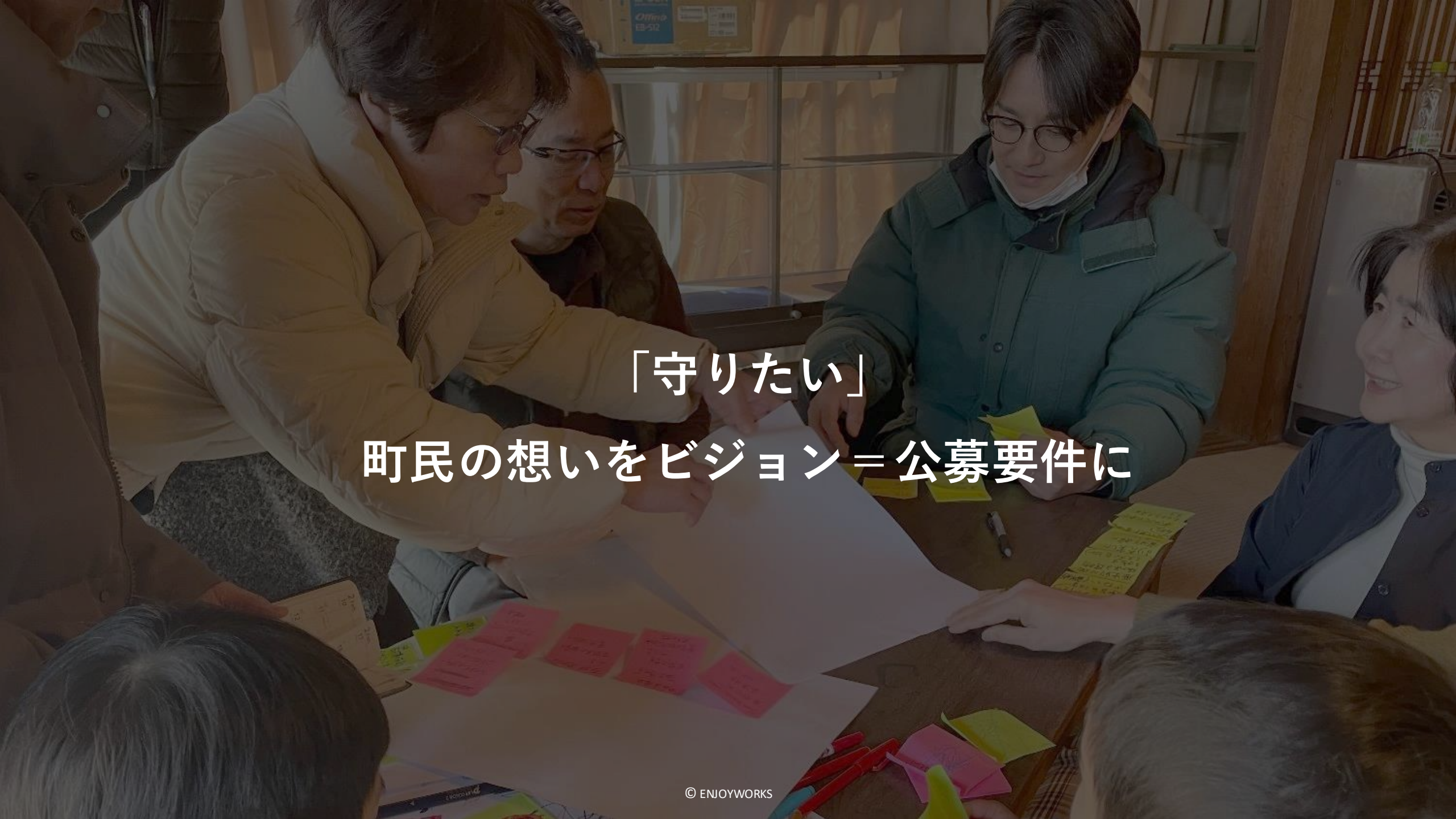


築100年

地域の想いがあふれた個人寄贈古民家を
スモールコンセプションで再生



借り手探しではなく、地域の担い手育成



「守りたい」
町民の想いをビジョン＝公募要件に



想いを要件にする

「どんな事業/どんな事業者だったら維持できるか」



事業者公募要件を町民のみんなで考えました

8つの公募要件

1.

歴史と文化を受け継ぐ

旧民俗資料館としての歴史的・文化的価値を尊重しよう。

2.

続けられるしくみをつくる

公共性を保ちつつ収支の安定を確保。責任体制・手順を明確に。

3.

地域とつながる

町民・観光客・事業者が自然に集う「人溜まり」を生み出す活動を。

4.

真鶴らしさを生かす

（歴史・文化・自然・漁業など）真鶴の暮らしの美意識を感じられる体験やコンテンツをつくろう。

5.

外に開き、内を豊かにする

町外の人材・知恵・資金を巻き込み、広く発信しながら町民自身が再び真鶴の価値を再発見できるようにしよう。

6.

建物や敷地を大切に扱うこと

物件を丁寧に保存・活用し、文化財登録等の判断があった際にはその実施に協力すること。

7.

町とともに運営する

町民と行政・事業者が対話し、誇りを育む協働体制をつくる。

8.

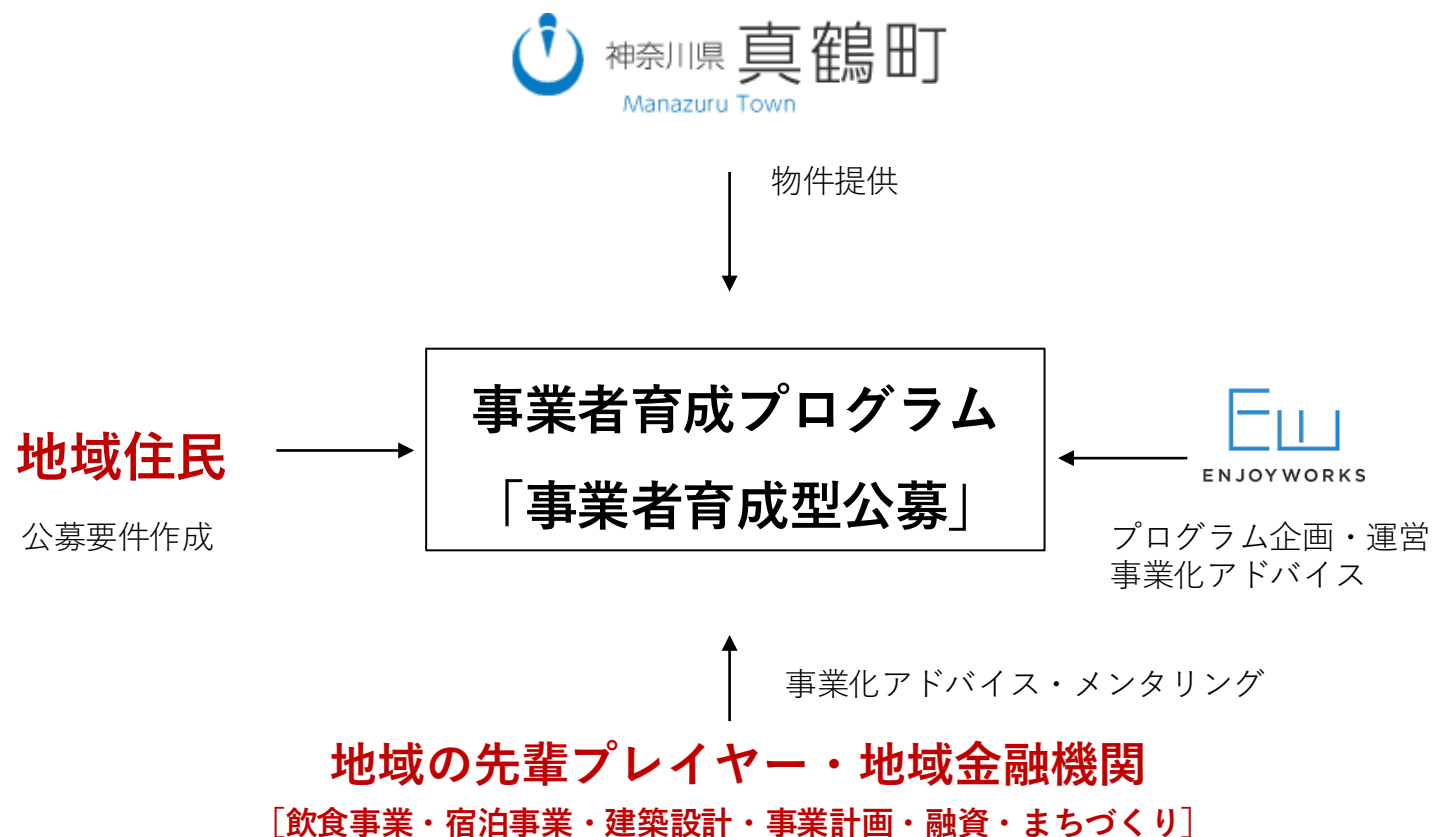
見守り育てる

運営開始後、町民と行政・事業者が対話し、誇りを育む協働体制をつくろう。

10/13～10/31まで「町民が大切だと思う公募要件」のアンケートを実施しました。

★は多く票を集めた3つです。

地域を巻き込んだ実施体制づくり



あなたの事業を伴走します
真鶴町ではじめませんか

真鶴町スモールコンセッション

エントリー
12/13
(土)
募集締切

旧土屋邸の未来を考える ～事業者育成型公募プログラム～

事業者育成型公募プログラムとは

「事業者育成型公募」とは、自治体が一方的に条件を決める従来の公募とは異なり、単に応募者を募って終わりではなく、選ばれた事業者が地域で継続的に活動できるように地域ぐるみで伴走支援を行う仕組みです。

自治体に加えて、地元企業・地域金融機関などが連携し、エリアの新しい事業者を生み出します。

さまざまなジャンルの専門家や企業が「メンター」となって支援していくのも大きな特徴。

旧土屋邸という町の資産を次の世代へつなぐために、地域とともに未来を描いてくださる事業者を募集します。

■ 旧土屋邸について

真鶴町のまちなかに佇む、昭和初期に建てられた旧真鶴町民俗資料館（旧土屋邸）。石材家で築えた土屋家の住まいとして、町の文化や暮らしを今に伝える建物です。長年親しまれてきましたが、老朽化により2024年に閉館。現在、町とエンジョイワークスが連携し、地域の皆さんとともに新たな活用に向けて、検討を進めています。

- ・ 所 在：足柄下郡真鶴町岩596
- ・ 竣工年月：主屋：大正開業後 蔵：明治期（詳細な竣工年月は不明）
- ・ 構 造：木造
- ・ 規 模：平屋建て
- ・ 建築面積：197.11㎡
- ・ 延べ面積：225.31㎡
- ・ 敷地面積：800.26㎡
- ・ 規制等：第1種住居地域、真鶴町まちづくり条例

※出典元：神奈川県近代和風建築調査報告



こんな方のエントリーをお待ちしております！

- 真鶴町で事業をはじめたい方
- まちの誰かと一緒に事業を考えている方
- 地域にひらかれた事業を目指している方
- 今後、独立・起業を検討している方

✕ ご興味もしくはご不明点がある場合はお気軽にお問い合わせください！✕

※エントリーは12/13(土)まで

公募の詳細や
エントリーは
こちら

主催：真鶴町
神奈川県足柄下郡真鶴町岩244番地の1
☎ 0465-68-1131

運営：株式会社エンジョイワークス
神奈川県鎌倉市由比が浜1-3-1 2F
☎ 0467-53-8583

© 真鶴町 ×

事業者公募要件を町民のみんなで考えました

真鶴町がこれから新たな事業者を正式に公募していきます。
それにあたり、地域の想いをベースにした“公募要件”を、町民自身が考えておくことが大切だと考えています。
これまでのワークショップで「旧土屋邸を未来につなぐために」をテーマに、町民のみんなで意見を出し合い、8つの公募要件を作り上げました！

8つの公募要件

1.
歴史と文化を受け継ぐ

旧民俗資料館としての歴史的・文化的価値を尊重しよう。

2.
続けられるしくみをつくる

公共性を保ちつつ収支の安定を確保。責任体制・手順を明確に。

3.
地域とつながる

町民・観光客・事業者が自然に集う「人繋まり」を生み出す活動を。

4.
真鶴らしさを生かす

（歴史・文化・自然・漁業など）真鶴の暮らしの美意識を感じられる体験やコンテンツをつくろう。

5.
外に開き、内を豊かにする

町外の人材・知恵・資金を巻き込み、広く発信しながら町民自身が再び真鶴の価値を再発見できるようにしよう。

6.
建物や敷地を大切に扱うこと

物件を丁寧に保存・活用し、文化財登録等の判断があった際にはその実施に協力すること。

7.
町とともに運営する

町民と行政・事業者が対話し、誇りを育む協働体制をつくる。

8.
見守り育てる

運営開始後、町民と行政・事業者が対話し、誇りを育む協働体制をつくろう。

10/13～10/31まで「町民が大切だと思う公募要件」のアンケートを実施しました。

★は多く票を集めた3つです。

事業者育成型公募プログラムの流れ

真鶴町の先輩たちがあなたの事業・開業に向けてサポートします

まちで活躍する各分野の専門家があなたの挑戦を応援します。

■ プログラムの流れ ※エントリーから開業までサポートします※



※スケジュールは予定となります。状況に応じて適宜変更となる可能性がございます。

■ 応募方法 右記のQRコードよりエントリーして下さい>>>

皆さまからのエントリーをお待ちしております
旧土屋邸であなたの事業を実現しませんか
まずはプログラム説明会へぜひご参加ください

エントリー
12/13
(土)
募集締切

エントリーはコチラ

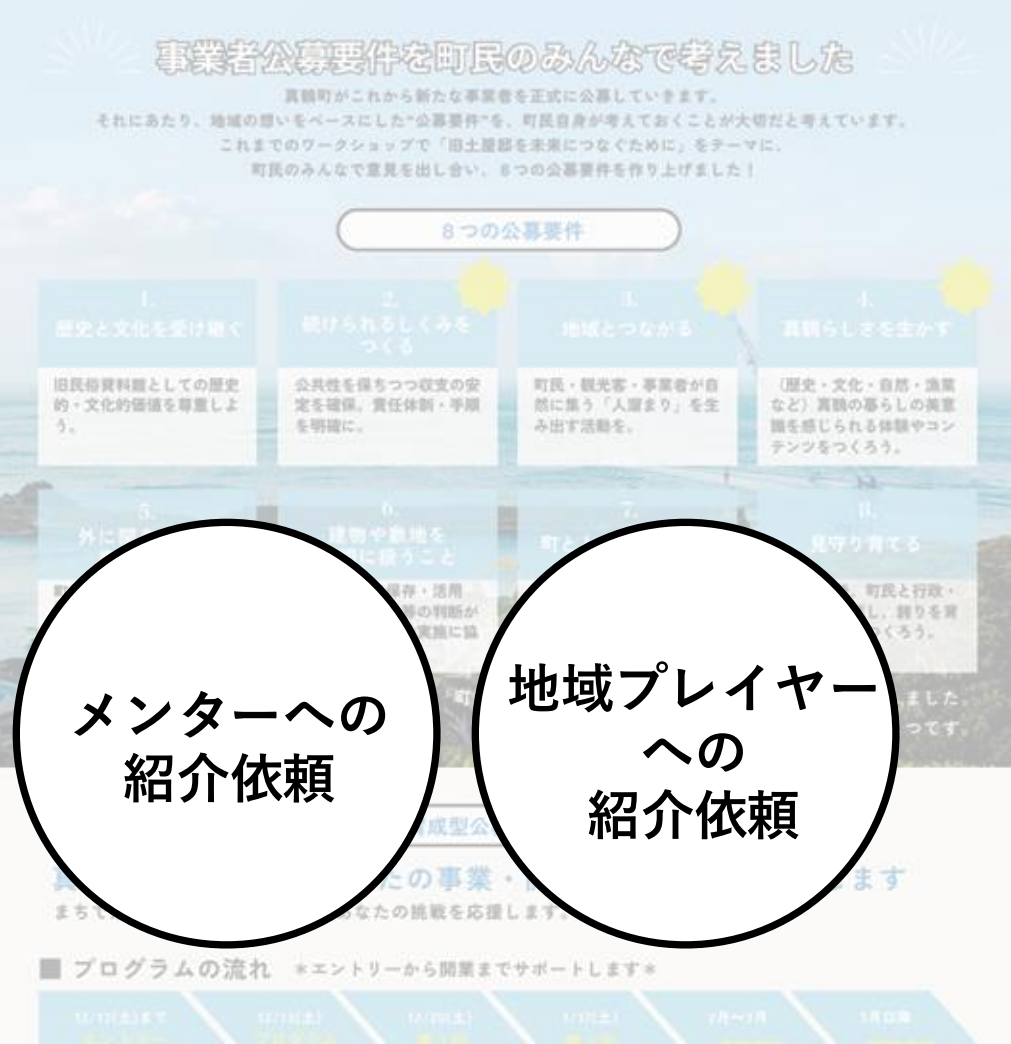
■ 応募資格

- ・ 思いのある、個人、団体、企業、グループが応募できます。
- ・ 未成年者は保護者の同意を得た上で応募してください。
- ・ 応募された場合、保護者の同意があったものとみなします。
- ・ 公序良俗に反するもの、特定の政党・宗教の支持を目的とするもの、暴力団またはその関係者が関与するものはエントリーできません。



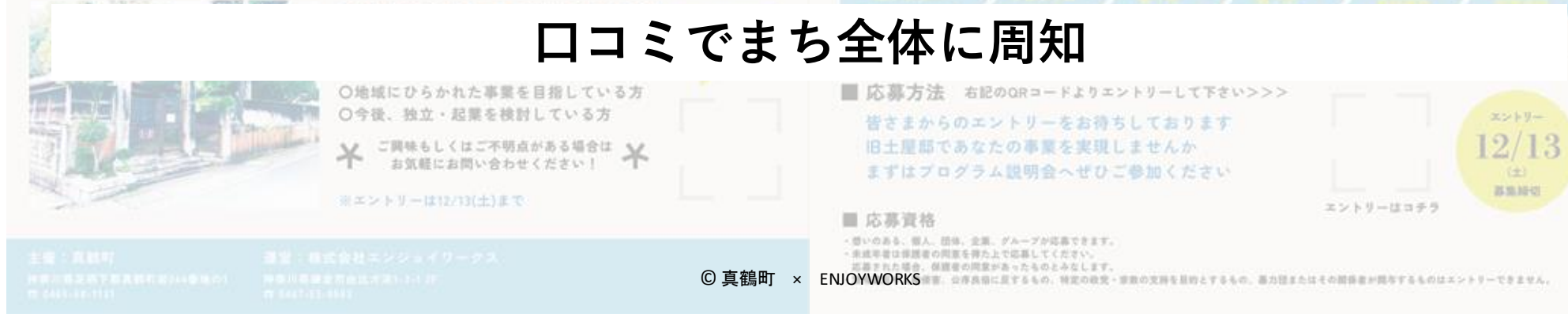
町民
ワークショップ
での周知

チラシ・SNS
発信



地域プレイヤー
への
紹介依頼

口コミでまち全体に周知



- 地域にひらかれた事業を目指している方
- 今後、独立・起業を検討している方
- ✕ ご興味もしくはご不明点がある場合は
お気軽にお問い合わせください！

※エントリーは12/13(土)まで

- 応募方法 右記のQRコードよりエントリーして下さい>>>
- 皆さまからのエントリーをお待ちしております
- 旧土屋邸であなたの事業を実現しませんか
- まずはプログラム説明会へぜひご参加ください

■ 応募資格

- ・思いのある、個人、団体、企業、グループが応募できます。
- ・未成年者は保護者の同意を得た上で応募してください。
- ・応募資格は、保護者の同意があったものとみなします。
- ・応募資格は、応募資格に反するもの、特定の政党・宗教の支持を目的とするもの、暴力団またはその関係者が関与するものはエントリーできません。

見えてこなかったプレイヤー・アイデアが顕在化

事業者育成公募プログラムエントリーシート	コサナに記入ください
氏名/会社名 	解決したい地域課題や社会課題 歴史ある田舎家の未活用空間の再生 空き家・空き公共施設の利活用モデルの創出 地域の自然・食料資源：わが村・個性材等との連携利用 観光への地域貢献の向上 若年層一極化等の「心身の発達」に応えるウェルネス拠点不足
事業分野 発酵トリート（滞在型セルフヒーリング事業）	開発予定時期 2024年10月～2025年3月（予定）
事業名、店舗名(仮)	

[illegible]

事業内容	解決したい地域課題や社会課題
事業分野	① 環境意識や食農の教育などを通じて、 補助金に頼らない健康促進事業を子どもを作り、それを皮をかりて商店街の復興 や定住型移住の推進等、食農の推進事業を地域に展開していく。
事業名・店舗名(案)	② 食農教育を通して食文化の価値を伝える。 ③ 中学校の食育推進事業。食農には食育、フーズ・エデュケーション等、人として大切な学びの場があることを世に発信し、教育移住を促す。
事業コンセプト/ビジョン	④ 開業予定時期
■ 長所 ・ コンセプト 日本文化体験型施設	未定

日本文化体験型民泊

① 皆が自分たちへ贈りたい思い出にしたいという趣意を強く示す。

② 日本文化を伝えるにイベントやプログラム、講座等の新しい手段(季節のよなイベント)を開発し(市民は民泊、宿泊者はイベント)、文化発信の場を
作ることに、子どもたちの居場所づくりを繋げる。

ターゲット層

- 長所: 高所得者層、インバウンド
- イベントスペース(周遊/旅行にずも)

競合分析・差別化ポイント

- ① 100名以上の民泊型で1日5時間以上の体験を申し渡すことができる。
- ② 企画だけでなく、その人々の交流を支援する機会を自ら感じることができる。
- ③ 情報発信の場として、食農の学習に食農の力をさらに発揮する。

月売上・想定資料/スタッフ数想定

別紙事業計画書参照

エリアへの想いや貢献

民泊業は2020年以降ますます、その関与、その貢献の行く末にかけて、地方の士気向上、地方の活性化に大きく貢献できるものと考えられている。

時代の変化、市場のニーズに迅速に柔軟に対応していくことが求められ、また、

そんな中、地方創生の決定的な切り札として民泊を位置付けているに似ている。

そんな中、地方創生に関する書籍で「民泊施設は生産性不足とリスクに左右されたいわい」
と書かれたのは、私の経験や民泊の事業に立派なつら、自己投資を費して事業を
先行的に仕掛けています。

[illegible][illegible]

はじめて活動に参加したプレイヤー、さらにサポーターも出現

見えてこなかったプレイヤー・アイデアが顕在化

12/13(土)まで
エントリー
募集開始 11/14(金)

12/13(土)
プログラム
説明会

12/20(土)
第1回
メンタリング

1/31(土)
第2回
メンタリング

2月～3月
最終審査

3月以降
開業準備

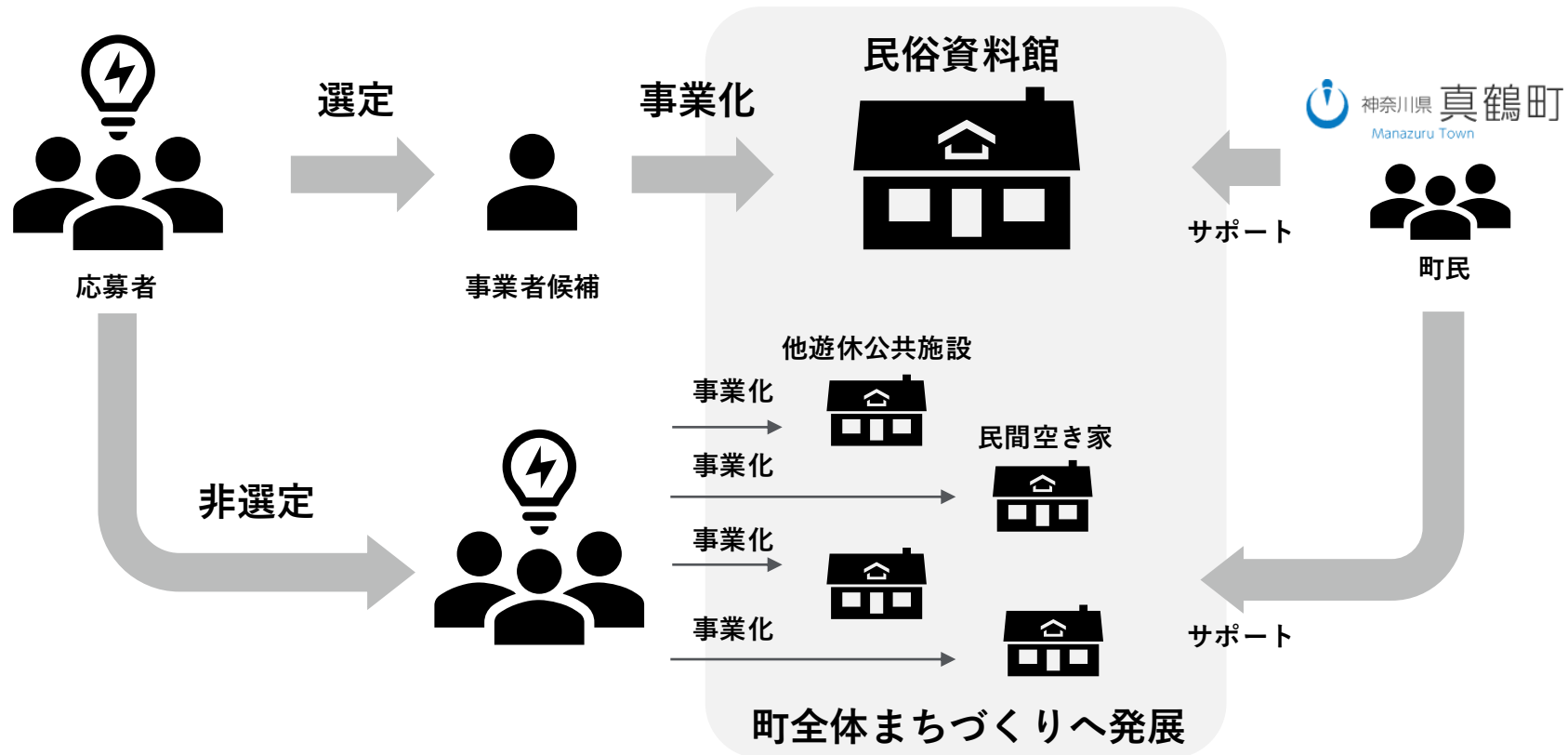


公的遊休不動産から町民ディベロッパーを育てる



地域共創で作りあげたプロジェクトに地域内外の投資を呼びこむ

顕在化した事業者とアイデアは他施設を受け皿に

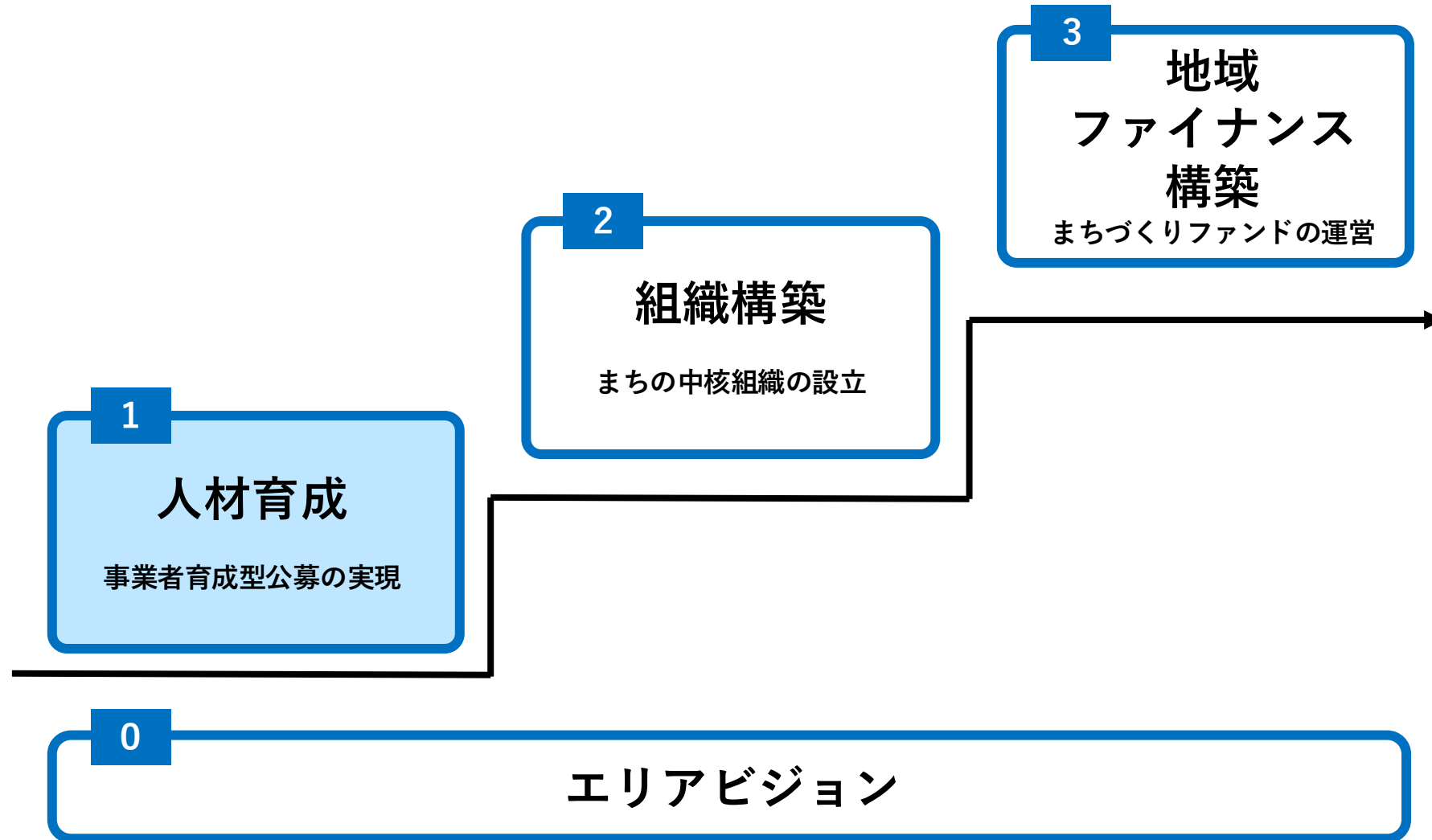


ひとつの公的遊休不動産再生をエリアの面的再生のきっかけに

事業者育成型公募のはじめ方

人材育成からはじめるまちづくりの3STEP

事業者育成型公募をまちづくりのロードマップに位置付ける



連携させていただきたい市町村

こんな状況の市町村さん 一緒に始めましょう！

✓ 中心市街地・商店街・門前町などに、遊休不動産や空き家がある

✓ 「にぎわいをつくる担い手（プレイヤー）」を増やしたい

✓ 公共施設（PRE）の利活用から、まちなか再生をしたい

✓ 地域金融機関や地元プレイヤーと連携できる

✓ 補助金頼みでなく、自走する仕組みをつくりたい

規模は問いません

11.6 万人

生駒市（まちなかエリア型）

6,511 人

真鶴町（一施設型・過疎地域）

大きな市でも、小さな町でも実施できます。

事業者育成型公募のはじめ方

まずは、小さく始めることも

A

まずはビジョンづくりから

事業者を育てたいエリアの検討

エリアビジョン・ロードマップを検討

地域協力者の巻き込み

B

まずは物件調査から

活用したい遊休不動産の調査

施設活用方針・ターゲットを検討

事業者育成型公募のはじめ方

制度の活用も相談できます。

国土交通省都市局
「官民連携まちなか再生推進事業」

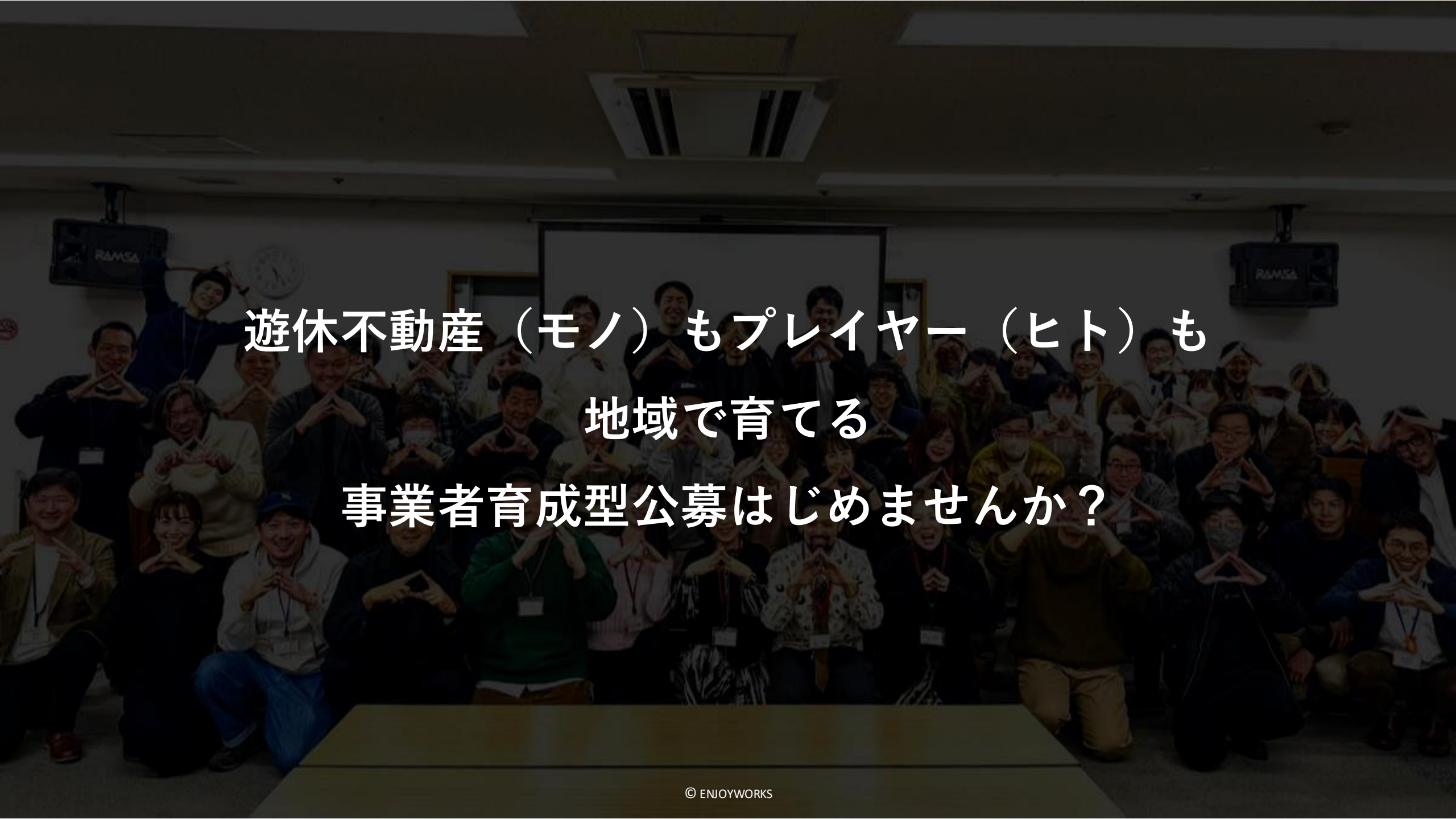


都市再生推進法人 + 事業者育成型公募

国土交通省総合政策局
スモールコンセッション関係の各種制度



公的遊休不動産利活用 + 事業者育成型公募



遊休不動産（モノ）もプレイヤー（ヒト）も
地域で育てる
事業者育成型公募はじめませんか？